



11月1日現在の天王町  
 本籍数 3,980  
 本籍人口 14,032  
 世帯数 2,676  
 住民登録人口 12,956  
 内 男 6,428  
 女 6,528

# うんのてん報

第21号 昭和40年12月1日発行

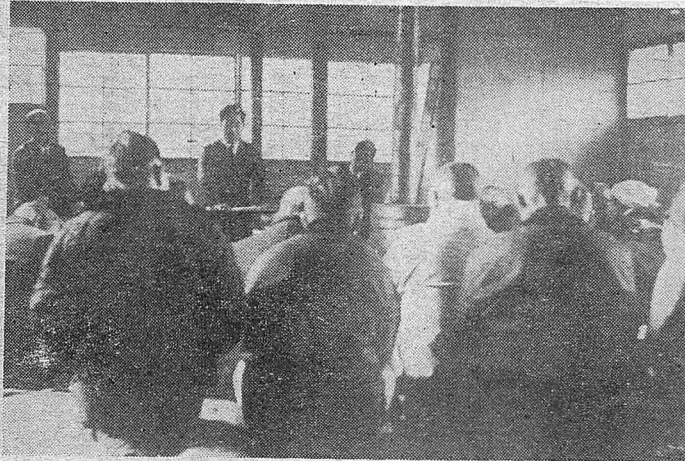
発行所  
 秋田県天王町役場  
 (天王局 1番42番 135番)  
 編集  
 天王町役場総務課  
 印刷  
 一日市印刷所  
 電話 38番

## 各地で町政懇談会

### 十一月は四部落で開催

「町政懇談会」が各部落で開催されている。これは地域住民から直接ナマの意見を出してもらい、それを町政に反映させて、明るく住みよい町づくりを推し進めてゆこうと、町中央公民館が部落分館と歩調をあわせて開いているもので、十一月は江川、淡谷、大崎、蒲沼の各分館で行なわれた。

天王町政が藤原町長の手によってスタートしてから、十一月十一日であろうと半年。この間、正式指定になった新産都市問題を真ん中に、あとにも前にも大きな問題



江川部落で開かれた町政座談会

がギツシリの天王町にあつて、運営にあたるものの指揮棒の振りかたいかんが、町の色彩を明るくも暗くもする。地域住民と町運営にあたるものが直接ヒザを交えて話しあう「町政懇談会」は大きな意義を持つている。とくに「町民の福祉につながるもの優先」の町長にとつて、これらにおけるメモ帳は、指揮棒を振るかくせない原動力となつて

会は、部落の人が少しでも多く集まれるようにと、日曜日や夜に開かれることも多いが当局からは町長を始め、教育長、課長クラスがつづうのつく限り出席、質疑の応答にあたり

出席者も回を重ねるごとに増え、とくに最近では婦人の出席がめだつて多くなつてきている。

話し合われる問題は、その部落によつた多少の差違はあるが、新産都市、教育、税金関係が多く、土木、衛生、八郎潟に関する問題がこれに次いでいる。

藤原町長は就任以来々々ガラス張りの町政ククでこぼこのない公平平等な町政ククをモットーに町運営にあたり、また、職員の間紀肅正と住民へのサービスに力を入れているが、懇談会で学ぶものも多いと大きな関心を示している。また住民側も「町の運営者と具体的に話し合う機会を得て、町全体の現状や今後の方針がわかる」と町政懇談会の意義は大きいようだ。町公民館では、今後も各部落で開催する予定だが、一人でも多く出席してほしいと望んでいる。

### 新消防団長に藤原氏

二田亮氏の辞職で空白になつていた天王町消防団長は、去る十一月六日の分団長会議で副団長の藤原吉治郎氏(江川)が推薦され、同日、町長がこれを任命した。また、これにともなう副団長には、第四分団長の菊地貞蔵氏(上戸)が任命された。

藤原新団長のことは「団長を拜命になり、職責の重大さを痛感しています。微力ながら一意専心して、消防人の使命である水災・火災から住民の生命、財産を護るといふ根本目的遂行のため、全団員

が一丸となつて邁進していきたいと思つている」  
 菊地新副団長のことは「二十数年の分団長経験を生かして、災害の撲滅と本町消防活動の発展のためがんばつてゆきたい」

### 天王町に総理大臣賞

安田係長は厚生大臣賞  
 天王町は、昭和三十九年度住民登録人口移動報告実施についての成績が優秀であるとして、この程内閣総理大臣より表彰せられた。これは昭和三十三年に次ぎ二度目のものである。

また、安田戸籍係長も、人口動態調査事務の成績が優秀であるとして、最高賞である厚生大臣より表彰状ならびに記念品をおくられた。

### 十二月のこよみ

- 1日 歳末助けあい運動(十二月中)映画の日
- 4日 人権週間(十日まで)
- 7日 大雪
- 8日 針供養
- 15日 年賀ハガキ取扱開始
- 19日 家庭の日
- 22日 冬至
- 23日 皇太子誕生日
- 25日 クリスマス
- 28日 官庁ご用納め
- 31日 大みそか
- 月異名 師走(しわす)
- 花 暦 すいせん
- 誕生石 トルコ石

# 来年度成人者二一六名

## 成人式は一月五日天中で

昭和四十一年度天王町成人式は、来年一月五日に天王中学校体育館で行なわれます。

来年度成人式対象者は、昭和二十年一月十六日から二十一年四月一日までに出生した人で、全町で二百十六名。

今年度までは、前年の成人の日の翌日から、その年の成人の日当日まで満二十才になつた人を対象としていましたが、来年度からは学校の入学名簿にあわせ、四月一日までに二十才となる人も該当になります。

- ▽塩口 桜庭源蔵、桜庭草、桜庭秀雄、桜庭多三郎、米谷慶一、桜庭幸重、桜庭庄三郎、桜庭クニ子、米谷栄子、桜庭稔、丸谷シゲ子、石川則子、桜庭久子、桜庭菊男
- ▽中羽立 菅生清、菅生武市、菅生幸子
- ▽羽立 安田和季、安田徳悦、児王俊之、安田美智恵、石川次子、安田又吉、鈴木美智恵、鈴木広夫、安田安広、安田春悦、安田憲一、安田貞子、安田忠司、鈴木新一、石川カネ子、西村正子、西村栄三郎、鈴木千賀子、西村タカ子、石川美江子、三浦信子
- ▽渋谷 渋谷千恵子、渋谷トシ子、渋谷貞義、渋谷登、渋谷範男、加藤仁二門、加藤武雄、桜庭キナ子
- ▽天王 近藤三恵子、武田清孝、加藤勝彦、児玉勲、石川博、児玉

- 正一、田中誠一、金子浩司、鈴木芳子、鎌田幸子、米谷タエ子、柏崎惣左衛門、村山利明、柏崎若子、加藤敏、柏崎春雄、鈴木博文、村山稔、柏崎千代、金子イマ子、柏崎吉文、大沼紀雄、柏崎祥子、戸田完勝、戸田征一、戸田俊樹、三井栄子、佐藤忠平、戸田智恵子、茂呂秀夫、村山恵久男、鎌田幸子、米谷憲一、佐藤シナ、菊地正子、京谷チャヤ子、佐藤ヒサ子、柏崎ヒサ子、安東実子、深川美喜雄、越後谷ハチ子
- ▽江川 藤原信子、伊藤繁美、太田キヌイ、伊藤節子、伊藤綾子、藤原良雄、伊藤政子、藤原日藏、佐藤弘子、石黒美栄子
- ▽児玉 菅生憲雄、松村秋雄、佐藤倫子、佐藤和雄、鈴木勝美、松村クニ子、渡部保雄
- ▽大崎 三浦恵美子、石井昇、吉田喜代子、吉田節子、三浦昭子、三浦キヨ子、吉田兼三郎、三浦順子、三浦静子、近藤正治、工藤礼子、三浦優子、吉田金昭、三浦友子、三浦九日男、三浦善弘、三浦ミサ、秋野久美子、三浦仁、三浦繁、三浦かほる、菅原セツ子、菅原征男、鈴木八重子、吉田与司文
- ▽二田 武田幸子、福井千鶴子、鎌田孝雄、千田定春、古戸吉雄、渡部正勝、佐藤重敏、天野美栄、大関ミヤ、工藤利勝、柳原エチ、大関富士男、渡部ミヨ子、三浦義

- 弘、藤原春子、三浦薫、渡部正子、渡部正通、鈴木法子、渡辺洋美、安田昭夫、石井威志子、伊藤ミツ子、佐藤昌子、佐藤繁、佐藤孝子、佐藤富隆、薄田政義、加藤勝治、加藤正子、加藤正義、藤原千鶴子、真壁堅二郎、村井知恵子、真壁アイ子、島山チャヤ子、藤原初子、小沼敏通、藤原正義、藤原クニ
- ▽鶴沼合 藤原ミチ子、加賀谷稔、菅原寿郎、大西茂雄、浦部康悦、佐藤三四郎、小松勇
- ▽蒲沼 村井静子、鎌田孝、佐藤ノリ
- ▽下出戸 佐々木金作、佐々木次男、小野静子、菊地五合子、佐々木昭次、佐々木修作
- ▽出戸開拓 安田新一、安田雷子、菅原エミ子、古山氏子
- ▽上出戸 菊地友子、菊地昭子、藤原トミエ、菊地次男、菊地鉄和、小玉和彦
- ▽追分西 渡部誼、堀文子、小野久子、銭谷裕信、千葉良人
- ▽北野 加賀谷信、丸野内満子
- ▽追分 小野容子、加賀谷トシ子、中田桐、中川弘人、土田美恵子、佐々木周旋、長谷川カシ子、佐々木良博、佐藤陸子、佐藤リツ子、貝田智、佐藤兼光、伊藤安則、高橋孝雄

## 応募は一二〇点

### 明るく正しい選挙の標語

ことしは国民参政七十五周年、普選四十周年、婦人参政二十周年にあたる年。天王町選挙管理委員会と明るく正しい選挙推進協議会は、これを記念し、明るく正しい選挙をすすめる一策として町内小・中学校から標語を募集していたが、十一月二十日のしめ切り日まで百二十点が応募。

次の十五点が入賞した。  
◆小学校の部 応募作品百五点  
一等 一点  
天王小 五年 桜庭 茂子  
「もうやめよう選挙いはんは町の恥」  
二等 二点  
追分小 六年 永井美智夫  
「買収をするなさせるな正しい選挙」

選外佳作 二点  
出戸小 六年 青山 誠  
「心の一票正しく使え」  
東湖小 六年 京谷 優子  
「正しい選挙ですみよい町を」  
◆中学校の部 応募作品十五点

- 一等 一点  
追分小 六年 鎌田 檀子  
「しまいさせまよよれた一票」  
三等 二点  
出戸小 三年 古山 徳博  
「おかねにもさけにもつられないよいせんぎよ」  
出戸小 三年 服部 忠信  
「おとうさんきれいな心で正しいびょう」  
天王小 五年 木元富咲子  
「この一票明るくつかつてよい町を」  
選外佳作 二点  
出戸小 六年 青山 誠  
「心の一票正しく使え」  
東湖小 六年 京谷 優子  
「正しい選挙ですみよい町を」  
◆中学校の部 応募作品十五点

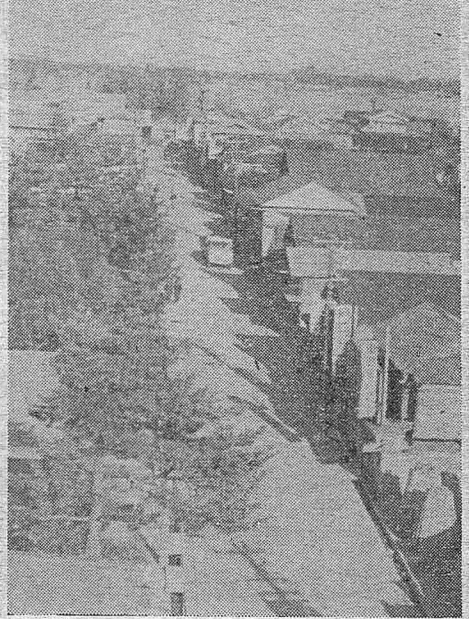
### 暗春の天(十二月)

追分西 渡部 六愁

枯萱に路ふさがれて野の石仏  
栗はせて炉の迷想やベトナム戦  
出稼ぎの還らぬ事故や戮れくる  
上出戸の北野天神も冬構え  
冬ぬくし麦茶の塩気心よし  
菊人形賞む少年の声替り  
柿熟るる萱根根よりも高い空に  
女医の余技人形つくる初冬の灯

一等 一点  
三年 飯島富士子  
「みんなて選ぼう明日の幸福(しあわせ)つくる人」  
二等 二点  
三年 鎌田 公仁  
「この一票母ちゃんもらうな父ちゃん飲むな」  
三年 小野 隆  
「みんなの一票で明るい社会の約束を」  
三等 二点  
三年 三浦アキ子  
「明るい社会を築くためまず考えて一票を」  
三年 三浦まり子  
「あなたの清い一票の前途には光が満ちている」  
三年 菊地 悦子  
「おとうちゃん買収やめて正しい一票を」  
選外佳作 一点  
三年 伊藤 公男  
「一票にこめる心が自由を守る」

# だ走師あさ



## 十二月

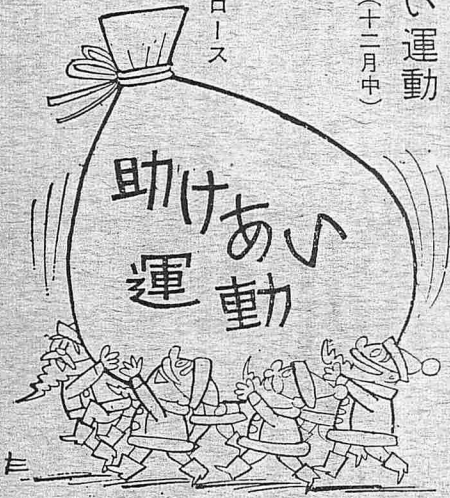
いよいよ師走(しわす)に入りました。これから寒々とした冬の自然が展開しますが、冬季の生活はなにかと気を配らねばなりません。

十二月は、一年の総決算の月ですが、あまり押しつもらないうちに、年を越し、新しい年を迎える準備をととのえておきましょう。とくにお歳暮などはプランを立てて、早めにすませておくこと。また、年末、年始にかけての防

## たすけあい運動

(十二月中)

さあ  
みんなが  
サンタクローズ  
になって



犯運動、火災予防、交通事故防止運動などには、ぜひ協力したいものです。一方、二十日過ぎから冬休みにはいる学童の生活指導や、カゼひきの予防などに気をくばつて、健康な年末を過ぎてやりた

いずれにしても、三十日、三十一日には大掃除を終わりに、心静かに新しい年を迎えられるよう、諸事を手早く片づけましょう。

### 火の用心

灰じんということばがあります。火災は文字どおりすべてを灰

とくに歳末におこる火災は悲惨です。人々がたのしいお正月を迎えるというのに、冬空に泣かねばなりません。

火災の大半は火の不始末から起つています。クナにがなんでも火の用心をお忘れなく……。

### 晴れ着の準備

暮れの忙しさで、正月用の晴着の点検をお忘れなく……。元旦からやれボタンがとれていたりとか、そでがほころびていたり針をとるのはあまりほめられません。

### 年末の計画

クリスマスが終わるとまもなく新年。仕事は計画を立てて手順よくすませましょう。つぎに、二十五、六日から年末までの計画のポイントをかかげてみました。

・すすはらい・しめなわ、かどま

- ・おせち料理、正月用食器類点検
  - ・正月食品の買入れ
  - ・年賀状の出しもれ(二十八日まで取り扱う)
  - ・お歳暮のものはないか
  - ・貸し借りの整理
  - ・正月用衣類の整理
  - ・のみ過ぎ、食べすぎ、かぜなどの家庭薬の用意
  - ・国旗の準備
- 実施の順序は皆さん各自でお考え下さい。

### おいしい野菜

#### 果実

十二月はトロロイモのおいしい時です。このトロロイモはあくが強く、おろすと変色しやすいものです。皮をむいたら酢水につけておき、おろすとき布で水をふいてからおろすと変色を防げます。千切りにして、酔しようゆとけずりぶして食べるのもおいしいものです。

### おへやに生花を

年の暮れはこのご家庭でもあわただしい毎日の連続です。天候も陰うつなうすら寒い日が多く、気持ちもいさおいらざらしてくるものです。

そんな時、おへやに一輪の生花でもあれば、どのくらい家庭を明るくするかわかりません。

この生花を買うのに、いくつかがこのつががあります。まず生花を買う場合は、午後二時ごろから夜八時までの間に買うことです。というのは、花のセリがあるのは朝から正午ごろまでで花屋さんがセリ市から店へ持って帰るのは、午後二時ごろです。したがって、新しい花は午後二時以降でない店頭に出できません。ですから午前中にあるのは前日のものというわけです。

- ①花につやがあつて茎の長いものが長もちします。茎の下の方にさわつてヌルヌルするものは古い。
- ②一つのおけに同種の生花がたくさんはいっているものをえらぶ。
- ③たえず水をかけているものは、見かけはみずみずしいが早く弱まる……ということですが。



寒風山が純白のヴェールで被われるのももうすぐ

# 子どもとおとしよりの集い

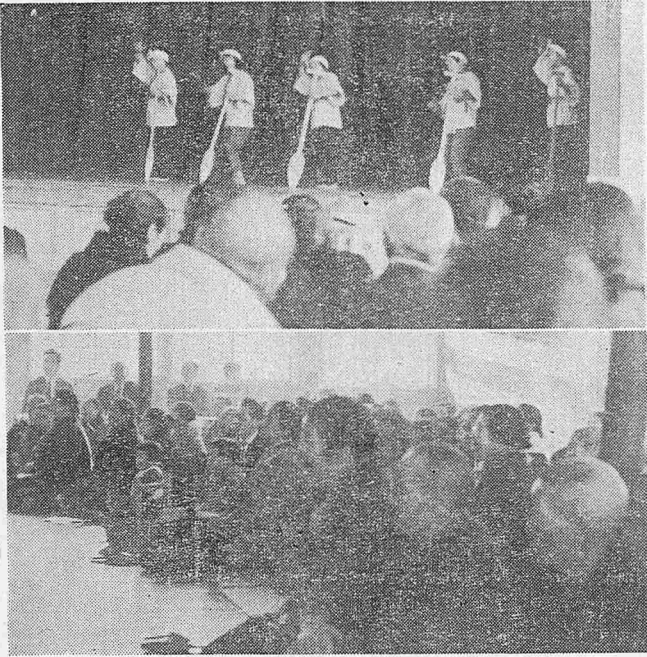
## 出戸小孫と語る会

おじいさん、おばあさんにとつてお孫さんは目の中へ入られても痛くないといわれているほどかわいい存在だが、そのお孫さんと楽しい一日を過ごしていたらどうと出戸小学校で開いている「孫と語る会」が、地元おとしよりから喜ばれている。

これは、同小学校に通学する区域の子どもと、おじいさん、おばあさんの集いで、去る三十六年来、五年も続いている。

昨年までは、毎春三月三日に開かれていたが、学校の年度末とかなるため、今年は農閑期を利用

して、去る十一月十一日に開かれた。当日は初雪が降つて、気温も二、三度前後の寒い日であつたがそれでも、会が始まる十一時までには、七十名近いおじいさんおばあさんが集まり、盛大に行なわれた。



プログラムには、先に行なわれた学芸会で好評だつた演芸などが組まれ、かわいい姿でつぎつぎと舞台に出てくるお孫さんへ、懸命に拍手をおくっていた。また「おじいさん」や「おばあさん」を題にした作文の朗読には、耳にジツと手をあてて、おもわず顔をほころばせたり、シユンとなつたりしながら熱心に聞き入つていた。

このあと昼食会や話し合いの会が行なわれたが、終始なごやかな空気につつまれてこの日の会を閉じた。

この「孫と語る会」は、敬老会の要素が主体となつているが「としよりの会」はあまり楽しみもなれないので、毎年この会を楽しみにしている。「(上出戸・菊地リサさん 六十才)も語っているように六十才以上の人を対象にしているのが、地元の人たちに喜ばれている一因でもあるようだ。

阿部・出戸小学校長のことば「今の子どもは昔と違い、放つておいても育つという時代ではなく、いろいろと子どもの気持ちを察し、また、お互いに理解しあつてゆかねばならない。そうした時、この会は多少なりとも意義はあると思う」

## 青色申告で税金を安く

「税金を安くしたい！」—この気持ちはいずれも皆同じですが、それが脱税や不当な申告によつてなされると、あとで更正決定を受

### 小学生の作文 おみせや(つこ)

東湖小二年 石黒あけみ

わたしといもうととひでかつさんと、家の中でおみせやさんごつこをしました。わたしのおうちにはかいです。いもうとのおうちはいどこで、一ばん下のいもうとのおうちはねどこです。ひでかつさんはおみせやさんです。ひでかつさんが「おみせはじまつた」といつたので、すこししてから、わたしはおみせへいきました。「ごめんください」といきました。みせの人がねむつていたので、大きなこえでいいおししました。みせの人が「はい」と目をさまして、おきあがりました。わたしは「かんづめとソーセージとたまごとパンをください」といきました。おみせやの人が「はい」とけることになり、かえつて損になります。

税金を安くする一番よい方法はずばりいつてく青色申告です。別紙をご覧下さい。これは四十年度の所得額一〇〇万円、専従者が妻と長男、扶養親族は子ども二人(十三才以下)、売掛金五〇万円、タナ卸資産一〇〇万円の場合です。青色申告をした人は、しな

い人より所得税が三二七〇〇円安

だしてくれました。わたしは「どうも」といつてかえりかけると、そこいもうとがきたので「おくさましばらくです」といつてにかいにあがつていききました。わたしは、またかいにいこうとおもい、とちゆうだいでころをのぞいたら、いもうとたちはほんとのおかしをたべていました。わたしは「ずるい」といつて、わたしも一つだけたべさせてもらいました。もう一つたべたかつたけれどもがまんして、かいいものにいきました。

みせの人が、またねむつていました。わたしが「どつ!!」とおどかすと、ひでかつさんがびつくりして、目をこすつたり、くしやみをしたり、あまりおもしろいかつこうをして目をさましたので、わたしもいもうとも一ばん下のいもうとも、おおわらいました。くなくなつていきます。

新規に青色申告をするには、さしあつて、

- ①十二月末で商品のタナ卸をして一月一日から記帳を始める。
- ②三月十五日まで「青色申告承認申請書」を税務署へ提出する。

この二点です。くわしいことは税務署・直税課で相談のつてくれます。

区	分	青色申告者	青色申告をしない人
事業所得	一、〇〇〇、〇〇〇円	一、〇〇〇、〇〇〇円	一、〇〇〇、〇〇〇円
専従者控除	三四五、〇〇〇円	二二五、〇〇〇円	
賞倒引当金	二七、五〇〇円		
価格変動準備金	七二、〇〇〇円		
差引所得	五五五、五〇〇円	七七五、〇〇〇円	
所得税	二四、〇〇〇円	五六、七〇〇円	

# みんなで愛の献血を

## 21日に移動採血車が来町

町民みなさまから「献血」をお願いするため、来る十二月二十一日に秋田県赤十字血液センターの移動採血車が来町します。みなさんの生命をみんなの血液で守るため、みなさまの善意をお願いします。

### きれいな血が不足しています

黄色い血追放  
献血できれいな血  
このことばは、今までいく度となく私たちの目に耳に入つてきました。

血液の需用は戦後めざましい進歩をとげた医学、とくに外科学術の分野において、大量に要求されるようになってきました。秋田県でも年間三万本(一本二百CC)以上を必要とされますが、そのほとんどが買血方式による固定した供血者の血液でまかなわれ、多くの受血者が黄色い血による副作用といわれる「血清肝炎」に悩んでいます。

このような弊害を防ぐため、必要にきれいな血液を貯えておき、常に応じたにだちに供給できる制度、組織が要望され、昨年十二月に「秋田県赤十字血液センター」(秋田県立中央病院内)が発足しました。また、このセンターに協力し、県民の生命を県民の血液で守ろうと「秋田県献血推進協議会」も同時に生まれ、まもなく一年になるうとしています。

この間、善意の人々によつて愛の血液が提供されてきましたが、まだ全面的に黄色い血を追放するまでに至つていません。輸血を必要とする多くの病人を始め、ひん発する交通事故による不慮のケガ、病氣などで、私たちが自身や家族がいつ輸血の必要性が生じてくるかわからないとき、これらの問題は無関心に見過すことが出来ません。

### 採血は身体検査後に実施

中においては、献血の趣旨は十分わかつておつても「採血によつて障害が起るのではないか」という人もおると思っています。採血の場合は、血圧、血液の比重、体重を測り較重な身体検査をして、基準にかなつた人だけに献血をお願いすることになっています。

また、血液型(A B O式・R H型)の判定や、肝臓機能の正否を個々へ通知しますので、自分の健康診断にもなるわけです。献血された方には、全国共通の「献血手帳」が交付され、その人が輸血を必要とする時には、手帳を主治医に提出すれば、どこでも献血による血液を優先的に輸血してくれます。

本町には、十二月二十一日(火)に移動採血車がやつて来ますので町民みなさまの愛の献血をお願いします。献血して下さる方は、早目に役場衛生係へ住所、氏名をお知らせ下さい。

なお、採血車は来年一月二十一日(金)にも来町する予定です。

### 鈴木選手をたてる会



先の本町から県代表として相撲に参加する青年の部

優勝した鈴木次次郎(18才)羽立選手をたたえる会が、十一月八日役場内で開かれた。

鈴木選手は、五回戦を勝ち通して決勝へ進出。東京の秋山選手をして投げで破り、みごと団体初優勝をかざった。それでも「団体が入位進出ならなくて」と語るあたり、スポーツマンらしい誠直さには町長、町議会議員を始め関係者、部落の人など三十数名が出席。また、天中ブラスバンド部員もかけつけて、会の演奏をになうなど、終始鈴木選手をたたえる明るいムードがいっぱいの会であった。

この会で戸田町体協会長は「最後の最後までがんばつた鈴木選手

の栄誉は、町の大きな喜びでもある。今後の本町スポーツ界発展に契機をもたらすものである」とあいさつ。藤原町長も「これは鈴木選手が、日頃からなみなみならぬ精進をされた結果のあらわれである。優勝はむずかしく、これを維持することはなおむずかしい。今後がんばつてほしい」と祝辞をのべた。

これに対し鈴木選手は「盛大な会を催していただき、心からうれし。これからも一生懸命がんばります」と力よくお礼の言葉をのべていた。

### レントゲン検査の結果について

十一月下旬に実施した結核検査

### 養豚共進会開かる

天王町「養豚共進会」が十一月十日、二田・農協倉庫前で行なわれた。これは、養豚の資質向上と健全な経営を促進するため、町が主催し、天王町農協と種豚研究会が協賛して開かれたもので、ことして三日目。

当日は、前の日からのヌカ雨が降り続き寒い日であつたが、それでも熱心な養豚者が十三頭を出場させ、審査を待ちながら、ブタの病氣や養育についてお互いに意見を交わしあつていった。

入賞者は次のとおり。

一 等 佐々木 肇(下戸)

二 等 松村 政雄(兎 玉)

### 寺沢氏表彰

去る十一月一日の自衛隊創立十五周年記念式典で、子息三人を自衛官に志願させられた本町鶴沼台の寺沢正彦氏は、自衛隊秋田地方連絡部長表彰を受けた。

### お知らせ

十二月二十九日から来年一月三日まで、役場事務を休みます。



- 遠間藤代治(二 田)
- 三 等 菊地石太郎(上 戸)
- 目黒 久治(羽 立)
- 未経産
- 一 等 菊地 政蔵(上 戸)
- 二 等 高橋新一郎(二 田)
- 三 等 上村 利蔵(二 田)

審査にあつた家畜保健所の塩地、男鹿市の獣医目黒の阿審査員は「参加頭数は少なかつたが、ツブぞろいの良いブタが集まつていた。ただ、あまりひとに接していないせいかさわがしさがあり、運動不足による足の弱さが目立つた」と話していた。

# かぜの季節 予防接種を

これからは、インフルエンザの流行する時期です。ふだんから被服や栄養、暖房など健康状態に気を配って下さい。外から帰つたときは、ウガイをするのも予防の一つです。

また、インフルエンザの予防接種を次のとおり行ないます。これは二回にわたって接種しますので、必ず二回受けて下さい。

## 藤原氏に文部大臣賞



十一月十三日に伊勢市(三重県)で開かれた「第五回全国学校保健大会」で、当町の藤原慶一郎氏が文部大臣賞を受けた。

これは、各学校保健の普及、向上に優秀な成果をあげた功績に対し贈られたもので、秋田県で三人目。

藤原氏は当町立の小、中学校医として、十七年間にわたつて学校の充実に、向上につとめ、とくに東湖小学校は、昨年と今年の二年連続「健康優良校」として県表彰を受けるなど、大きな成果をあげている。

円、中学生百二十円、大人百四十円です。(いずれも二回分一回目のとき持参下さい)

◎接種日程( )は二回目  
十二月六日(同十四日)―追分小  
追分、追分西、北野開拓の人  
十二月七日(同十五日)―出戸小  
出戸、下出戸、細谷、蒲沼、  
出戸開拓、鶴沼台の人  
十二月十日(同十八日)―東湖小  
天王、江川の人  
十二月十一日(同二十日)―役場  
二田、児玉、大崎の人  
十二月十三日(同二十一日)―鶴  
丈谷地保育所―羽立、渋谷、中  
羽立、塩口の人  
。受付時間―午後一時―二時まで  
※小・中学生、保育所・幼稚園  
の園児は、それぞれの学校などで  
期間中行ないます。  
(その他、お問い合わせは役場  
衛生係へ)

なほ「ジフテリア・百日せき」  
予防接種の二回より済んでいない  
方は、三回目を十二月十一日に役  
場で行ないます。

## 目標額を突破 共同募金運動

去る十月一日から行なわれたい  
赤い羽根―共同募金は、町民み  
た十月一日から行なわれたい  
赤い羽根―共同募金は、町民み

## 昭和40年度 天王町共同募金額

地区名	目標額	募金額
塩口	13,970	17,240
中羽立	5,060	4,960
羽立	17,930	12,490
渋谷	5,720	5,720
大崎	23,100	23,100
天王	53,350	59,470
江川	18,920	20,200
二田	56,210	55,805
沼田	5,060	6,766
合谷	4,070	3,130
沼沼	19,690	22,080
細田	2,530	2,530
蒲沼	4,950	4,950
出戸開拓	14,960	15,600
北野	5,610	5,120
追分		
追分西		
計	251,130	264,661

## 16ミリ映写機 講習会

16ミリ映画フィルムなど、視聴覚器材を活用して身近にある問題を発見し出し、これを解決してゆく学習を進めようと、天王町公民館では、16ミリ映写機技術講習会を開きます。

講習会に参加して検定に合格すると、16ミリ映写機操作免許証が得られます。また、現在免許証の持っていない人で、更新しなければならぬ人は、一日講習で更新許可証が得られます。

受講希望者は、あなたの部落の分館長、青年会長、婦人会長のいずれかを通じて、公民館事務局へ申し込んで下さい。

◎と き―十二月九日、十日(午前十時から)

◎と ころ―天王町役場議員控室

なさまの暖かいご協力を得て、十一月末まで、当初目標額の一〇七%にあたる二六四、六六一円が寄せられました。

## 年末調整

十二月は、給与所得者にとつて所得税を精算するため、年末調整が行なわれる時です。

年末調整は、毎月の給与やボーナスから源泉徴収された税金と、その一年間の給与所得に対して納めなければならない税金を比較し、その過不足を精算するものです。この年末調整をする前には、

①「扶養控除申告書」の異動申告をしたかどうか。②「保険料控除申告書」を提出したかどうかをよく知らせて下さい。

年末調整の結果、過納額は還付され、不足の場合は最後の給与から徴収されることとなります。

## 履歴申立て書 の再提出を

軍人恩給に関する法令の改正によつて、先に提出していただきませんでした陸軍と海軍関係の履歴申立て書は、いま県で事務が進められていますが、海軍関係の書類が不備のため、この関係の人はもう一度役場へ履歴申立て書を提出して下さい。

## 慶弔欄

十月中に婚姻届のあつた方 (○印は戸籍の筆頭者)

- 全 貞植
- 山本 幸徳
- 吉田 加代子
- 桑原 金優
- 藤原 厚子
- 藤原 洋子
- 榎庭 孝
- 堀内 新一
- 大貫 ミサ
- 伊藤 和仁
- 安田 廣一
- 羽入 晴子
- 新城 征夫
- 太田 恵美子

十月中に死亡届のあつた方

- 内田久三郎
- 遠藤美代子
- 鎌田 久雄
- 小柳 栄子
- 菅原 滝雄
- 佐々木タエ
- 榎庭 孝造
- 夏井 栄子
- 川崎 龍一
- 柏崎 龜
- 古山 文男
- 八柳由美子
- 佐藤 サタ(82才)
- 伊藤 忠吉(67才)
- 伊藤 周吉(59才)
- 伊藤 キノ(59才)
- 斎藤 兼治(61才)
- 斎藤 トミ(60才)
- 小原 タエ(52才)